

元気 産業と地域資源を活かした魅力あふれるまちづくり

(6) 活力とにぎわいのある地域産業の振興

⑱魅力と集客力のある観光を振興する



現状と課題

- ◆観光地としてのイメージを定着させるために、明確なコンセプト※1に基づいた観光戦略を立てることが重要です。
- ◆本市の魅力を分かりやすく伝えるためには、観光戦略に基づく一元的なプロモーションが必要です。
- ◆観光産業をけん引役として地域経済の活性化を図るために、地域が一体となった取組が求められています。
- ◆より多くの観光客に訪問してもらうためには、インターネットやSNSを通じた情報発信力の強化が必要です。
- ◆新たな観光需要の喚起や外国人観光客の誘致のために、二つの日本遺産をはじめとする多彩な観光資源の有効活用が求められています。

施策の方針

観光地経営の視点に立ち、官民が一体となって、歴史・文化、温泉、食といった多彩な地域資源を最大限に活用するとともに、兵庫県や広域DMO※2および地域連携DMOと連携し、さまざまな魅力を国内外へ積極的に情報発信しながら、観光産業による地域経済の活性化を図るなど、本市の観光を振興します。



温泉



赤穂の塩

※1コンセプト…企画・広告などで、全体を貫く基本的な観点・考え方。

※2DMO……Destination Management/Marketing Organizationの略語。地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。